



量研では「放射線」についての

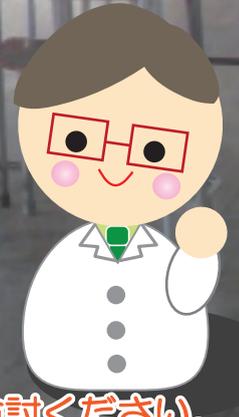
出前授業を行っています。

出前授業

いたします。

小・中・高校へ

量子科学技術研究開発機構
量子生命・医学部門



実施趣旨

受け入れの希望を募っておりますので、ぜひご検討ください。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災に伴って発生した東京電力福島第一原発事故以来、健康や食への不安、放射線に関わる風評被害、災害地を含めた今後の日本復興など、解決すべき大きな問題があります。学校の理科教育を通して、一人一人の子どもたちが、社会における放射線の利用を科学的根拠に基づいて思考し、判断し、行動できる力を育てるための支援をします。

実施概要

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
量子生命・医学部門 人材育成センター
根井 充、飯田 治三

- ①出前授業者
- ②実施時期 希望日をお知らせください。相談に応じます。
- ③実施対象 千葉県内の小学校・中学校・高等学校
- ④実施規模・時間 学級を実施基本単位とし、1 学級 45/50 分
- ⑤主な授業内容 (学校指導要領の範囲内で学校の実態や要望に合わせて相談し設定します)
～放射線の基礎知識、自然放射線、放射線による生体影響、暮らしや産業での放射線の利用など～



※新型コロナウイルス感染拡大防止のための環境衛生を良好に保てるよう、学校のご協力のもと、手指や使用資機材等のアルコール消毒などの配慮を行ってまいります。

当日使用するもの

- ①学校に持ち込む物品 パソコン、mobile Wi-Fi、プロジェクター、ハンディ型ビデオ、大型霧箱、ドライアイス、エタノール、GMサーベイメータ（放射線測定器）、自然放射線の試料（鉱石、昆布、湯の華、やさしお）、アンケート用紙
- ②学校でご用意いただくもの テキストの印刷、プロジェクター用スクリーン

授業風景



授業の途中では、当センターと中継を結び、自然放射線についての解説も行います。



生徒さん達に放射線測定器で自然の放射線を測定してもらい、体感できる授業としています。今年度は2人～3人に1台の放射線測定器を用意し、全員が体験できるようにする予定です。



大型霧箱を用いることで、目で見ることのできない放射線を可視化することができます。目で見ることで、放射線をイメージしやすくなり、理解が進みます。



アンケート

- 「放射線が危険」という話は聞いたことがあったけど、役に立つし良いこともあるのだとわかった。
- 今まで、放射線についてあまり考えることはなかったけど、私たちの将来にも関わることなので、これからも知っていきたい。
- 放射線は悪いことではないのですね。家族にも今回の内容を広めたいと思います。本日はありがとうございました。
- 面白かったです。放射線が治療にも役立っていることにおどろきました。まだまだ可能性を秘めていると思われる放射線について調べている人がたくさんいる理由がわかった気がします。
- 今日の特別授業で放射線に興味をもてた。ありがとうございました。
- 今まで放射線のことは、よくわからなかったけど今回の授業でよくわかりました。いちばん人体影響に興味をもちました。



お申し込み・お問い合わせ

量子生命・医学部門 人材育成センター 飯田 治三
☎ 043-206-3048 ✉ training-nirs@qst.go.jp

希望実施日の1か月前までにご連絡ください。